

北海道支部主催 中学・高校ブレインストーミング開催

連盟北海道支部副支部長 岡山 洋一

平成 17 年 3 月 20 日、北海道支部主催「中学・高校論題ブレインストーミング」が開催されました。中学校の部は 13 時から、高校の部は 15 時からそれぞれブレインストーミングを行い、新ルールの解説、中学フォーマットでの注意点、作戦の立て方などの解説も同時に行いました。

事前の告知期間が短かったので実際何人参加するか心配だったのですが、蓋を開けてみると 30 人の中学生、高校生、先生の参加がありました。会場は満員で、スタッフの座る所が無いような状況でした。昨年北海道地区大会に参加してくれた中学校は全校、高校はほとんどが参加してくれました。

また、昨年地区大会に参加していない高校も、先生がディベート同好会のメンバーを引き連れて、中学論題のブレインストーミングから参加してくれました。

中学論題の方はディベート甲子園 OB であり、現在北海道大学ディベートクラブで活

躍中の田巻君、金山君が司会進行をしました。最初にいろいろな袋を実際に見せて、それぞれの袋がレジ袋の定義にあっているのかどうかを確認し、次にゲームを行い、その後グループに分かれてブレインストーミングを行いました。そしてグループごとにアイデアを発表してもらい、そのアイデアをもとに、今度はメリット・デメリットのラベルを考えていきました。

高校の部は、私と金山君で行いました。こちらは人数が少ないので、炭素税や京都議定書、地球温暖化などについて皆で確認した後、参加者全員でブレインストーミングを行いました。

参加者に書いてもらったアンケートを見ると、場所が遠かった、せまかったなど、開催場所についての不満が多少見受けられましたが、内容については参加者に満足してもらえたようです。またこのような機会を設けて、各校の交流をはかっていきたいと思います。